

(仮称) 第4次青少年総合プランの骨子案のポイント (主な変更点)

1 「子ども・若者を取り巻く環境の変化」に係る整理・拡充

(1) 『社会全体の状況と課題』

「少子化の進行」や「グローバル化の進展」など10項目を記載

(2) 『子ども・若者が過ごす「場」における状況の変化と課題』

「家庭」「学校」など5項目を記載

※現計画では、「子ども・若者を取り巻く環境の変化」として、「人口減少、少子高齢化」

「家族をめぐる状況」などの4項目のみを記載

2 目指す姿の新設

(仮) 社会のみんなで成長を支え、子ども・若者一人ひとりの可能性を広げる千葉

3 新たな柱の設置

新たな柱として、「創造的な未来を切り拓く子ども・若者の応援」を追加

4 基本目標の追加【6つから8つに変更】

新たな柱の創設に伴い、Ⅲの柱の基本目標として、「世界を舞台に活躍する能力の育成」

「若者の新たな挑戦の応援」を追加

5 基本方策の追加・整理【14方策から20方策に変更】

以下6方策を追加する他、所要の整理を行う。

「方策3 誰一人取り残すことのない教育の実現」

「方策4 共生社会の実現や多様な学習ニーズに対応した教育の推進」

「方策9 障害のある子どもへの支援」

「方策13 世界を舞台に活躍する能力の育成」

「方策14 若者の新たな挑戦の応援」

「方策15 子ども・若者の成長を支える担い手の養成・確保・支援」